

事業区分	文化芸術事業		鑑賞事業		
事業名	キエフ・バレエ「くるみ割り人形」				
目的・内容	鳥取県内では、バレエに対する注目は、バレエ関係者の尽力もあり、年々高まっている。バレエは、音楽・演劇・舞踊・美術等が一体となったオペラと並ぶ総合芸術といわれているが、収支の関係で国内外の一流の公演は県内でなかなか実施できないことが現状である。この公演を開催することにより県内のバレエ愛好家はもちろん、現在活動中の児童生徒にも鑑賞を可能とすることとなり、更なる鑑賞者の拡大とレベルアップを目的とする。 【使命】「文化芸術人口の拡大とレベルアップ」 【事業企画の柱】「潜在的な鑑賞者の掘り起こしと文化支援者層の拡大」 【内容】タラス・シェフチェンコ記念ウクライナ国立バレエ「くるみ割り人形 全2幕」				
開催日時	平成19年12月14日(金) 18:00開演				
会場	鳥取県民文化会館梨花ホール				
入場料・参加費 (友の会)	S・車椅子席 11,000円 (10,000円)	A席 9,000円 (8,500円)	B席 7,000円 (6,500円)	学生席 1,500円	
集客状況	入場者数 922名	設定席数 1,834席	集客率 50.3%		
事業費状況	予算額	収入 715,000円	支出 338,000円	収支比率	212%
	決算額	収入 445,225円	支出 109,095円	収支比率	408%
来場者アンケート (主なもの)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台芸術・衣装がとても素晴らしかった。全体的にうまくまとまっていた。</li> <li>・県内に住んでいればなかなか見るのできないものだったので、非常に満足した。</li> <li>・演出が不十分。クリスマスシーズンであるにもかかわらず、華やかさにかける。</li> <li>・「公演中のお願い」（配布チラシ）が良かった。安心して拍手できた。</li> <li>・今回キャスト表と公演についての注意書きがあるのは、いいと思った。</li> <li>・駐車場が混雑していて時間がかかった。案内の人が機能していなかった。</li> </ul>				
1次評価 (内部)	<p>[成果]</p> <p>①フルオーケストラでの上演であるので、バレエ愛好者だけではなく、音楽関係の中高校生をもターゲットに事業展開を行うとともに、6ヶ月前から先行予約及び一般発売を行った。そのため、バレエ愛好者やバレエを習っている子・その親御さんのチケットの購入はメインターゲットという事もあり、順調に進んだ。</p> <p>②公演は海外の引越し公演という事もあり、本格的なバレエを安価で楽しんでもらえた。</p> <p>③満足度については76%であったが、無回答の方の感想は、大半の方が「感動した」など満足のコメートをいただいた。</p> <p>[課題]</p> <p>①公演の結果を踏まえて、今後の事業計画に反映していくよう鑑賞者の動態についての分析が必要。</p> <p>②バレエに限らず、クラシック系の鑑賞者が全体的に目減りしている傾向が見られるが、一方で、自由空間音楽会など、ラフなスタイルでのクラシック愛好者は急増していることについても、今後の検討が必要。</p> <p>③「団体・グループ・企業」などへのきめ細かな営業活動が、バレエ公演単発ではなかなか実行することができなかった。</p> <p>④新しい客層の開発のため、料金設定についても検討が必要。</p>				
2次評価 (財団評議員)	<p>[成果]</p> <p>①なかなか本物の鑑賞の機会がないバレエ公演を開催することにより、地方で、子どもたちや若い世代が、総合芸術に触れる機会が提供されることは素晴らしいことである。</p> <p>②テレビ局との共催でバレエを楽しむためのプレ事業を進めることができたのは、ただ単にバレエ公演をするだけでなく、本財団の趣旨に即した事業であると考え、バレエに限らず他の事業でも進めていきたいと思う。</p> <p>[課題]</p> <p>①プロモーターの事業に乗って開催することは本当にいいことなのか疑問が残る。</p> <p>②ドリンクバーの設置など新規の愛好者や鑑賞者を増やしていけるよう付加価値を検討することも必要と思う。</p> <p>③西部や島根東部等での広報活動もこういった公演の場合、もっと力を入れても良いのではと思った。</p> <p>④事前講演会の開催とか、時期的にタイムリーな「演目」の設定など、大きく評価できるが、意に反して観客動員に直結しなかったことは、反省材料として取り上げる必要がある。</p>				
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいクラシックファンを作っていくため、公演における付加価値を検討していく。</li> <li>・時期に合わせての効果的な販売促進や宣伝効果を考え、財団として団体・企業などへの継続的な広報宣伝を検討していく。</li> <li>・鑑賞機会の少ない地方における鑑賞機会の提供は、今後も我々の大切な使命であると考え、今後も「文化人口の拡大とレベルアップ」を果たすべく、クオリティーの高い文化芸術鑑賞機会の提供を継続して検討していく。</li> </ul>				